

第6章 インクルーシブ教育【問15～問17】

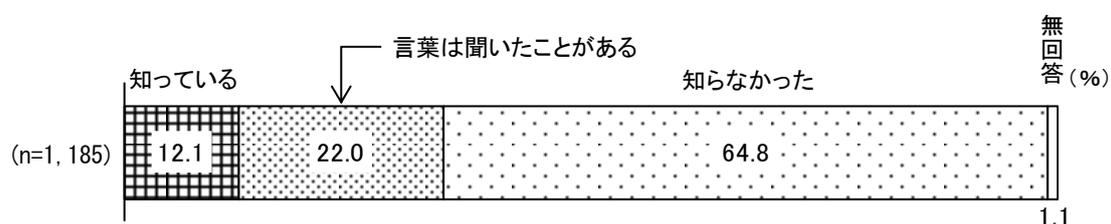
1 県のめざす「インクルーシブ教育」の認知度【問15】

【全体の状況】

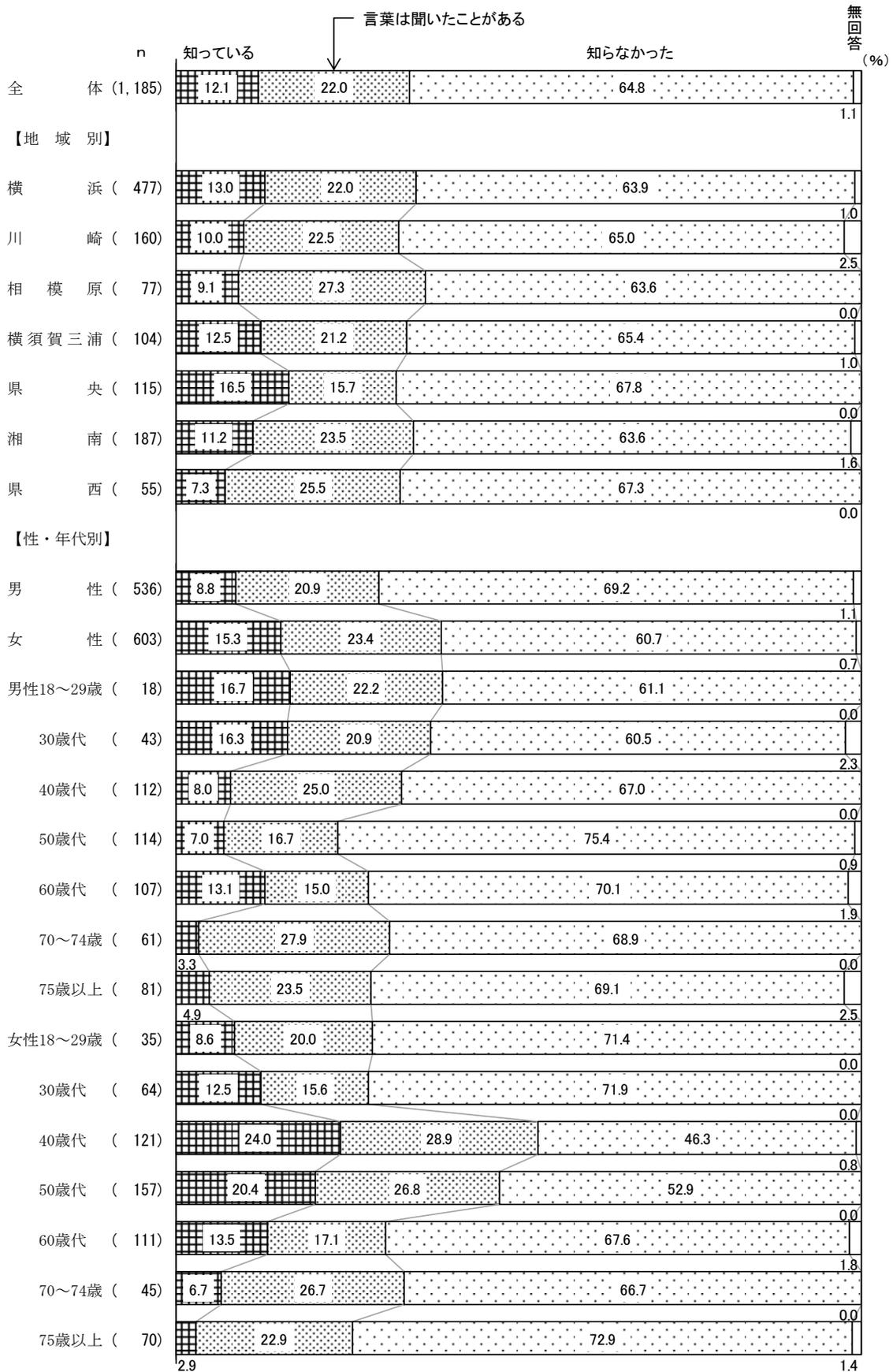
県のめざす「インクルーシブ教育」を知っているか尋ねたところ、「知っている」が12.1%であった。また、「言葉は聞いたことがある」が22.0%であった。

一方、「知らなかった」が64.8%であった。(図表6-1-1)

図表6-1-1 県のめざす「インクルーシブ教育」の認知度



図表6-1-2 県のめざす「インクルーシブ教育」の認知度—地域別、性・年代別



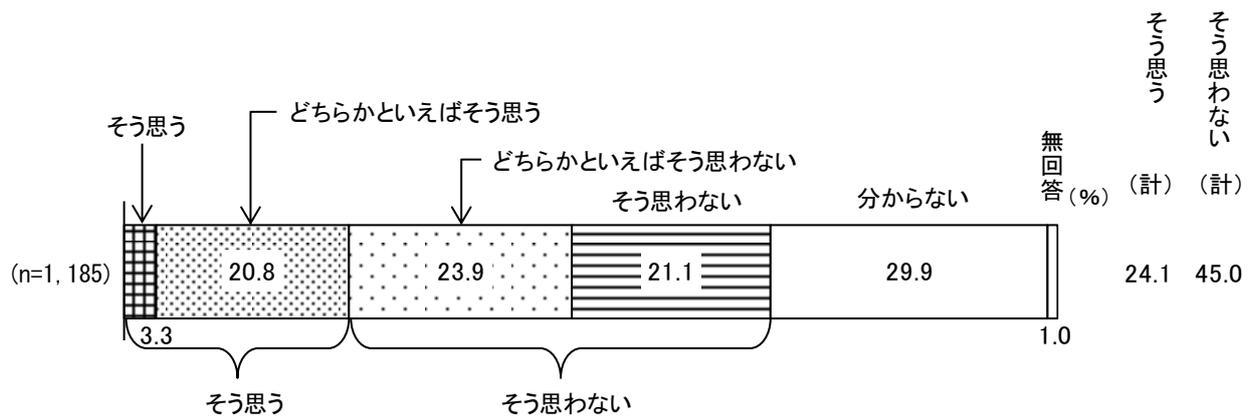
2 現在の学校はすべての子どもが学びやすいと思うか【問16】

【全体の状況】

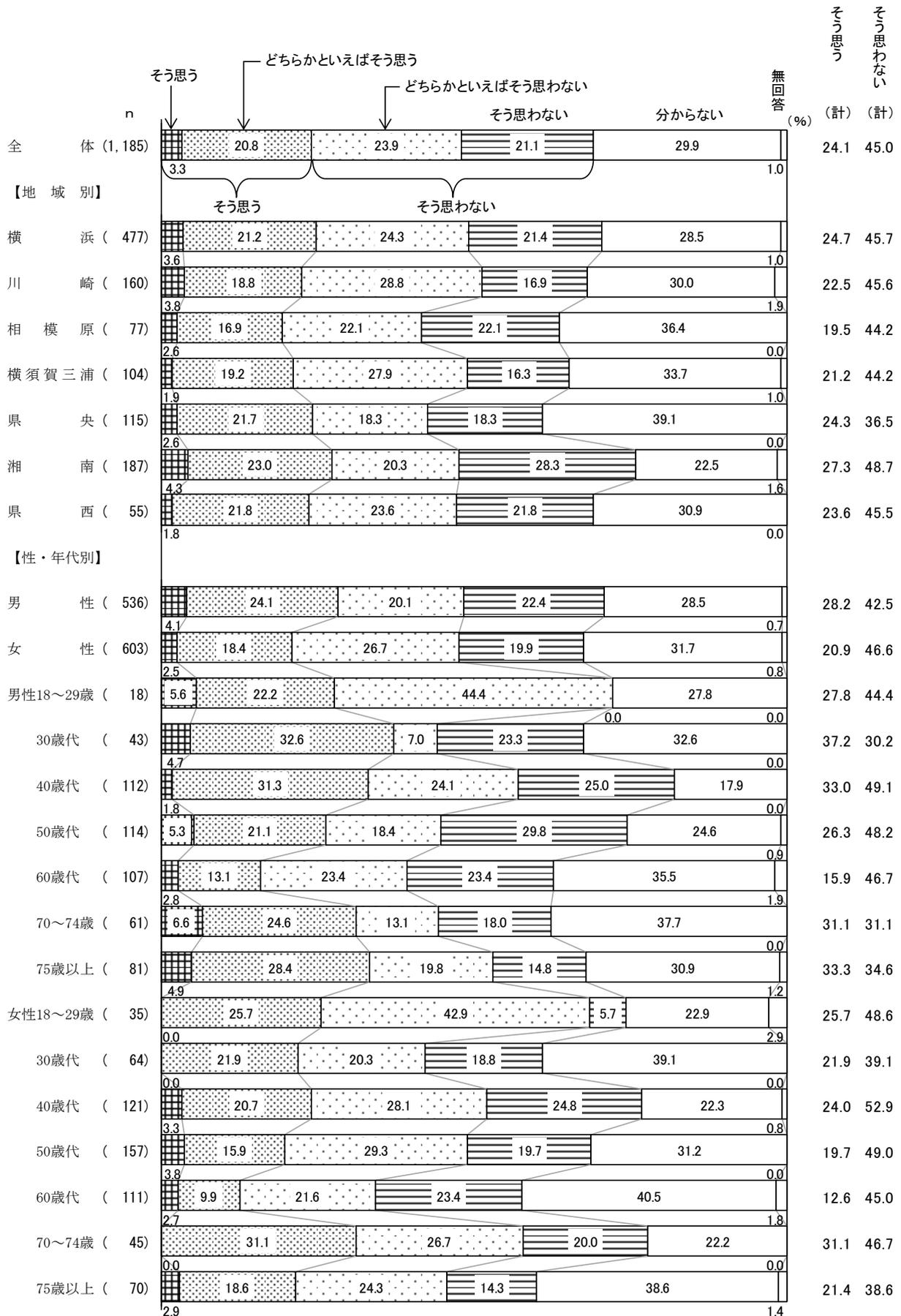
現在の学校はすべての子どもが学びやすいと思うか尋ねたところ、「そう思う」(3.3%)と「どちらかといえばそう思う」(20.8%)を合わせた《そう思う》は24.1%であった。

一方、「そう思わない」(21.1%)と「どちらかといえばそう思わない」(23.9%)を合わせた《そう思わない》は45.0%であった。(図表6-2-1)

図表6-2-1 現在の学校はすべての子どもが学びやすいと思うか



図表6-2-2 現在の学校はすべての子どもが学びやすいと思うか—地域別、性・年代別



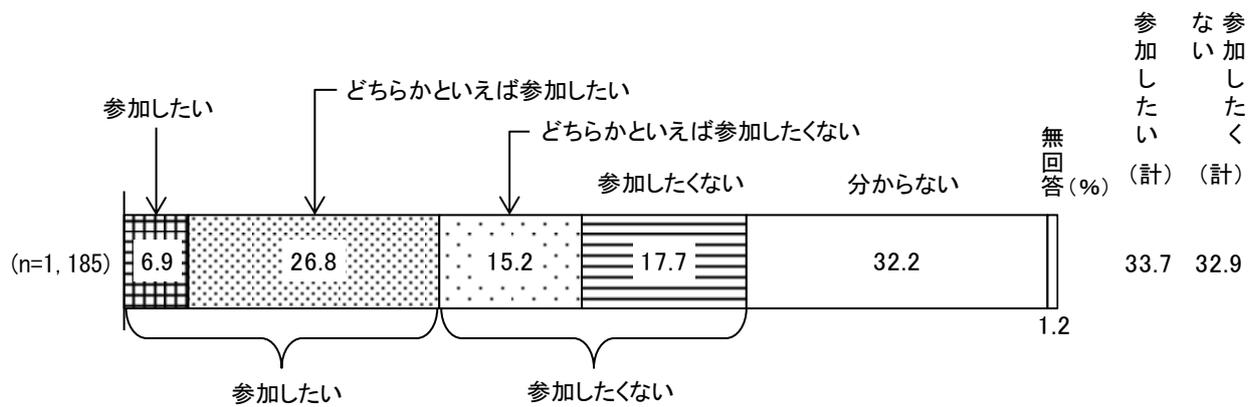
3 すべての子どもが学べる学校づくりへの参加意向【問17】

【全体の状況】

すべての子どもが学べる学校づくりに、ボランティアなどで参加したいと思うか尋ねたところ、「参加したい」(6.9%)と「どちらかといえば参加したい」(26.8%)を合わせた《参加したい》は33.7%であった。

一方、「参加したくない」(17.7%)と「どちらかといえば参加したくない」(15.2%)を合わせた《参加したくない》は32.9%であった。(図表6-3-1)

図表6-3-1 すべての子どもが学べる学校づくりへの参加意向



図表6-3-2 すべての子どもが学べる学校づくりへの参加意向—地域別、性・年代別

